

料金別納
郵便



衆議院議員 清水清一郎

国政報告 Vol.2

第164回通常国会が終了しました。



民主党は通常国会の冒頭より偽メール問題で国会の品位を落としただけでなく、自ら法案提出した人権法案の採決を拒否、「何の意味もない」と小沢党首は一言で切り捨て三党共同提案を約した国民投票法を反故にするなど国民のことは考えない党利党略を優先する体質を天下にさらすこととなりました。一方、国政においては、平成17年度末で国と地方の借金は770兆円を上回りましたが、プライマリーバランスの改善、特別会計の抜本改革、政府系金融の統廃合など、これまでの政府が出来なかったことに取り組み大きな成果を上げました。

引き続き、私達は今後とも歳出歳入一体改革を含め、構造改革・行政改革をより一層進めて参りますが、今後は経済の拡大・成長により重点を置き、かつ再チャレンジ可能な社会を実現し、改革の実が一人ひとりに行き渡る格差の少ない社会実現に全力で取り組んで参ります。

【介護、公共的介護】

官の介護とも民の介護ともニュアンスの違う公共の立場・意識を持った個人による介護を広げて行きたいと考えております。民間の介護(企業による介護)も大いに発展してもらいたいと考えております。又、福祉法人等による介護も大切な介護であり、最終的には官による介護や民間企業による介護にお世話になる訳であります。それまでの比較的軽い時期はボランティアによる介護でかつ世代間で次から次へと引き継がれる、自らの介護ボランティアが次の世代から同じ形でタダで還ってくる介護のネットを全国的に成立させたいと考えております。全国の自治体の人員を利用して、国の予算を導入し、NPOの組織作り、PR・拠点造り等を3年～4年行い、軌道に乗ってから純然たるNPOの組織とする。介護保険からの給付金を倍の時間で使える庶民の為の庶民による自分に還ってくる介護です。



▼総裁選もよろしく



清水清一郎が今後取り組む事

▼至誠学園を安倍官房長官と公式視察



生別、死別に限らず、親との縁の薄い子供たちにも人生のジャンプ台を。

【再チャレンジできる社会の仕組みを】

私が数年前、オランダの調査に出張した時、オランダでは事業に失敗した時、出来るだけ早期に出直すことが奨励されていました。負債の処理、債権者との交渉等々を代行して本人にはほとんど負債が残らないように処理をしてくれる企業がありました。その手数料は国家が支払ってくれる制度があったのです。

現在は、同じような仕組みがありますが、債務処理や再建のエキスパートが個人として手伝ってくれる組織となっています。経営者・銀行家・会計士・弁護士等のOBが集まってちょうどトヨタのOBが看板方式等の工場管理を教えているように再建や債務処理の代行をしています。

日本でも、受験や就職、職場でのトラブル、経営の失敗等々で挫折した人々が再挑戦できる環境造りと、復々線の教育制度、乗り換えの出来る教育制度、事業の失敗から再復活できる支援制度を作って参ります。



清水清一郎 活動記録

2005年

12月 耐震偽装問題発覚。神奈川県川崎のマンションを視察

2006年

3月 尖閣諸島を視察

3月 経団連幹部と会合

4月 宮城県・福島県の原子力発電所を視察

4月 清水清一郎講師勉強会開催

(講師:前モンゴル国全權駐日大使・バトジャルガル氏)

5月 栃木県宇都宮市のまちづくりを視察

5月 特許庁を視察

6月 つくば市宇宙開発センター視察



▲バトジャルガル氏と勉強会



清水清一郎 PROFILE

昭和22年4月23日生/日本大学法学部卒業/
銀行勤務を経て、衆議院議員小澤 公設第一秘書

平成5年 東京都議会議員選挙当選

平成8年 東京都議会議員辞職/衆議院議員選挙初挑戦(惜敗率全国1位)

平成17年 衆議院議員選挙初当選(東京ブロック)

【現在】衆議院経済産業委員会委員/衆議院議会運営委員会委員/沖縄及び北方問題に関する特別委員会委員/政治倫理審査委員会委員/
自由民主党東京都衆議院比例区第十支部支部長/党公報本部長

【著書】『清水清一郎のニュートレンド改革』(1996年 万葉舎)

【座右の銘】市井の人のこころを以て

衆議院議員 **清水清一郎** 後援会

経済産業委員会 <http://www3.ocn.ne.jp/~s-simizu/>

◆国会事務所◆

〒100-8982 千代田区永田町2-1-2 衆議院第二議員会館228号 TEL:03-3508-7028

◆東村山事務所◆

〒189-0014 東京都東村山市本町2-4-19 TEL:042-397-8080

只今、支部党員を大募集しております! お気軽にお問い合わせ下さい。

POST CARD

改革の実を個々人へ!!

【平成18年4月14日:経済産業委員会】



▲質疑に答弁する小此木副大臣

とくに地方における中心市街地の活性化には強い要望が寄せられており、全国的にもまちづくりの成功事例として注目されている栃木県宇都宮市の視察を踏まえて、質問を行いました。幅広い関係者の協力を得られるような環境整備の必要性を訴える一方、中心市街地の谷間となる周辺市街地への一定の配慮も必要不可欠と強調しました。又、成功例を広く知らしめること。人材の貸し出しも含め、やる気のある地域には、トコトン助成することをお願い致しました。

【日本は経済が大切】

いうまでもなく、日本は貿易によって国民を養っていく国であります。原油が値上がりし、将来は食料も不足する可能性が予想されます。その時に「高くても日本には売ってやらない」と言われるのは困ります。又、売ってもらえるのに金がなくて買えないのも困ります。

貿易を通じて国と国との友好関係を築いておくことが大切です。良い商品を相手の満足する値段で買ってもらえる国であり続ける為に、技術立国、知財立国を目指して進みます。その為に大学と企業の良い関係。特許制度のスピードアップ、特許出願の中小企業枠創設や、出願費用の援助等を進めます。



▲二階大臣の会弁

【成立・改正した主な法案】

消費者契約法、建築基準法の罰則強化、がん対策基本法、北朝鮮人権侵害対処法、金融商品取引法、中心市街地活性化法・他
清水清一郎代議士が所属している経済産業委員会の所管は、産業・エネルギー政策、中小企業支援、知的所有権の確保など多岐にわたり、私たちの生活と密接にかかわっています。清水清一郎代議士は、第164回通常国会で予算委員会を含め、2回質問に立ちました。

【平成18年3月1日:予算委員会にて】

首都圏及び多摩地区の道路建設状況について、渋滞を緩和するための圏央・外郭・両環状道路の整備、震災時に新潟・長野・西埼玉・山梨等との交通路として重要な位置づけがされている所沢3・3・1号線、(東村山から長野県茅野市までの国道)などについて質しました。とくに所沢3・3・1号線については、歴史的な経緯を踏まえ東村山3・3・8号(府中街道)の拡幅と乗り入れを進めるよう求めました。同時に、横田の民間利用、モノレール延伸、踏み切りの立体化等々、国の言質を取ると言えば言い過ぎかと思われませんが、予算委員会の議事録に載せてあります。全文は <http://www3.ocn.ne.jp/~s-simizu/> のHPでご覧下さい。



▲将来を見据えた法整備を要請